

※お申込みは10/14（金）からです。それ以前のお申込・ご予約はできませんのでご了承ください。

## 令和4年度 低圧電気取扱特別教育講習会

「労働安全衛生法第59条」では、電気取扱業務の従事者に対し、労働安全衛生特別教育を行うことを事業者者に義務付けています。本講習会では、低圧電気取扱者に対し事業者者に代わって法令に定められている特別教育(学科、実技1時間※)を実施します。実技では、作業に適した服装(長袖の上着など)でご参加ください。学科、実技の全科目修了者には修了証を発行します。

※当支部で行う実技は1時間です。実技は、低圧の活線作業及び活線近接作業の方法について、7時間以上(開閉器の操作の業務のみを行う者については、1時間以上)行うものとする、とされていますのでご注意ください。

〈講習内容〉※詳細は別紙のカリキュラムのとおり(都合により変更する場合がございますので予めご了承ください)

時間	科目	内容
9:00～	低圧の電気に関する基礎知識	低圧の電気の危険性、短絡、漏電、接地、電気絶縁
	低圧の電気設備に関する基礎知識	配電設備、変電設備、配線、電気使用設備、保守及び点検
12:00～	昼 食	
12:45～	低圧用の安全作業用具に関する基礎知識	絶縁用保護具、絶縁用防具、活線作業用器具、検電器、その他の安全作業用具、管理
	低圧の活線作業及び活線近接作業の方法	充電電路の防護、作業者の絶縁保護、停電電路に対する措置、作業管理、救急処置、災害防止
16:05～	関係法令	法、令及び安衛則中の関係条項
17:05～	実技教育	低圧電線路の開閉作業と活線、停電の確認方法など(開閉器の操作のみ)

〈募集要領〉

(1)開催日	令和4年11月14日(月) 9:00～18:10
(2)講習会場	沖縄産業支援センター 中ホール(312室) (那覇市小禄1831-1)
(3)募集定員	50名 ※定員となり次第締切ます
(4)申込期間	令和4年10月14日(金)～令和4年10月28日(金)必着
(5)申込方法	申込書に必要事項をご記入のうえ、FAXにてお申し込みください。申込書受付後に、受講券及び請求書を郵送いたします。講習日の3日前になっても届かない場合はご連絡ください。
(6)受講料 (消費税含む)	日本電気協会会員、各電気工事業協同組合組合員 9,200円/人 一般(上記以外の方) 12,300円/人 ※申込期間終了後の取消はできません。また受講料支払い後に欠席された場合、払い戻しはできませんので予めご了承ください。ただし受講者の交替は可能です。
(7)テキスト (消費税含む)	低圧電気取扱特別教育テキスト 第7版 1,100円 ※日本電気協会会員は990円(10%引)となります ※テキストをお持ちの方は当日ご持参ください。お持ちでない方は申込時にご注文ください
(8)申込先	☎900-0029 那覇市旭町114-4 おきでん那覇ビル6階 (一社)日本電気協会 沖縄支部 電話098-862-0654 FAX098-862-0687

## 令和4年度 低圧電気取扱特別教育講習会カリキュラム

日 時:令和4年11月14日(月)9:00~18:10

場 所:沖縄産業支援センター 中ホール(那覇市小禄 1831-1)

講 師:一般財団法人沖縄電気保安協会

時 間	科 目	講 師
09:00~10:00	低圧の電気に関する基礎知識(低圧の電気の危険性、短絡、漏電、接地、電気絶縁) 1時間	業務部 統括グループ 課長 西貴文氏
10:00~12:00	低圧の電気設備に関する基礎知識(配電設備、変電設備、配線、電気使用設備、保守及び点検) 2時間	
12:00~12:45	昼食	
12:45~13:45	低圧用の安全作業用具に関する基礎知識(絶縁用保護具、絶縁用防具、活線作業用器具、検電器、その他の安全作業用具、管理) 1時間	総務部 総務グループ 課長 萩原一貴氏
13:45~13:55	休憩	
13:55~15:55	低圧の活線作業及び活線近接作業の方法(充電電路の防護、作業者の絶縁保護、停電電路に対する措置、作業管理、救急処置、災害防止) 2時間	〃
15:55~16:05	休憩	
16:05~17:05	関係法令(法、令及び安衛則中の関係条項) 1時間	那覇支店 業務グループリーダー 嘉数 康氏
17:05~18:05	低圧電線路の開閉作業と活線、停電の確認方法など(開閉器の操作のみ) 1時間	西氏、萩原氏、嘉数氏、中部支店 業務グループリーダー 金城勝也氏、日本電気協会沖縄支部 事務局長 浦本克彦

### (注意事項)

- ・実技では作業に適した服装(長袖の上着など)でご参加ください
- ・講義中は携帯電話の電源をOFFにするか、マナーモードにしてください
- ・筆記用具をご持参ください
- ・途中休憩等をはさみますが、進捗状況により多少前後する場合がございます
- ・学科、実技の全科目修了者には修了証を発行します